

水土里レポート 投稿様式

投稿月日 平成26年6月10日

タイトル ぜんぶ手で植えたよ！！

水土里レポーター名 水土里ネット福山 佐々田 愛

平成26年6月6日（金）福山市立駅家西小学校5年生62名が、福山市駅家町の水土里ネット福山の
組合員の^{こだまあつし}児玉敦之さんのほ場、約600㎡で農業体験をしました。

5月13日（火）児玉さんの指導により、初蒔きをしました。それから園芸委員の子ども達が、毎朝登校すると授業が始める前に水をやり、苗を育てていました。その元気に育った苗を田んぼへ植える日がやってきました。



エイエイオー 学校を出発だ！



子どもより挨拶です。

学校からほ場まで約2kmを歩いて移動しました。田んぼへ到着すると、地域の方はすでに準備を整えて待っていてくださいました。

まず駅家学区町内連合会長の高本さんから「貴重な体験をしてください」と挨拶がありました。つぎに水土里ネット福山から、今回の田植え体験をきっかけに農業用水に関心をもってもらい、豪雨などの災害時や日頃の生活のなかで、ため池や水路に対する防災意識を高めてもらおうと、子ども達に農業用水路の防災について話をしました。



丁寧に説明してくださいました。



いよいよ田植えです！

児玉敦之さんより、苗の持ち方や田植え綱の目印に沿って植えること、植えて後ろへ下がる時は土を足で均すなど田植えの方法を教えていただき、いよいよ田植えです。子ども達は、二組に分かれ、田んぼの真ん中から後ろへ下がるように植えていきます。

田んぼに入った子ども達は歓声をあげていましたが、地域の方に教えてもらいながら、徐々に真剣な顔になり苗をつかみ、ゆっくりと植えていきます。殆どの子どもが初めての田植えですが、すぐにコツを掴み楽しそうに植えていました。

手持ちの苗がなくなると、子どもから「苗をください」と声があがり、地域の方が束にした苗を投げ入れて渡していました。慣れた子ども達は、どんどん植えていき、1時間かからないうちに植えることができました。



どんどん植えていきます！



ヒルにかまれるのも初めて！

途中ヒルにかまれる子どもが何人もいて、地域の方にヒルを取ってもらっていました。

田んぼにヒルがいるということは、農薬を極力使用しないためだそうです。児玉さんに伺ったところ、メダカやオタマジャクシも沢山泳いでいるそうです。

約600㎡の田んぼを全て手で植え付けをした子ども達は、達成感でいっぱいのような様子でした。

子ども達が帰宅する際には、福山市上下水道局の災害備蓄用飲料水「ばらのまち福山の水」を一人ずつ手渡しました。みんな元気にお礼を言ってくれました。

ここ駅家西小学校5年生の農業体験は、粃蒔きから育苗、田植え、そして稲刈りまで全て手作業で行われることとなっています。子ども達に昔ながらの貴重な農業体験をさせようと、児玉さんをはじめ、町内会や地域の方が多数参加され、地域に根付いた素晴らしい取り組みとなっています。

今後も水土里ネット福山として、このような取り組みに協力していきたいと思います。